



少女誘拐 男を確保

静岡・伊東で発見

23歳、手配の容疑者

約2年前に行方不明になった埼玉朝霞市の中学3年の女子生徒(15)が東京都中野区内で27日に保護された事件で、埼玉県警は28日未明、未成年者誘拐の疑いで逮捕状を取り指名手配をしていた同区東中野、職業不詳、寺内樺風容疑者



寺内樺風容疑者

者(23)の身柄を静岡県伊東市内で確保した。

埼玉県警朝霞署捜査本部によると、同日午前3時すぎ、伊東市内で「血だらけの男が歩いている」という通報が静岡県警にあり、県警の捜査員が現場に駆け付け寺内容疑者を確保。所持していた免許証などから身元を確認した。寺内容疑者は首などにけがをしており、自殺を図った可能性もあるとみて慎重に調べている。埼玉県警はけがの回復を待って逮捕する方針。

捜査関係者によると、女子生徒は、「全く知らない男に『両親は

離婚してしまつたので弁護士に会わせる』と声をかけられ、埼玉から車で連れて行かれた」と説明しているという。

女子生徒は平成26年3月10日午後3時45分ごろ、自宅前で男性と話しているところを近所の人が目撃したのを最後に姿を消した。母親が仕事を終えて帰宅すると、ポストには「さがさないで下さい」などと書かれたメモが残されていた。女子生徒は携帯電話や財布も持たず、制服姿のままだった。

県警などによると、女子生徒は27日午後0時10分ごろ、公衆電話で朝霞市の自宅に連絡し、女子生徒と母親がそれぞれ110番。「一緒にいた男がいなくなった隙に通報した」とし、「男は秋葉原に行くと言って出掛けた。いつもは外から施錠されていたが、今日は掛かっていなかった」と話していた。

埼玉県警は女子生徒が監禁状態にあった可能性があるとみて、28日未明に未成年者誘拐の容疑で逮捕状を取り、寺内容疑者の氏名や顔写真を公開。寺内容疑者の行方を追っていた。



寺内樺風容疑者の自宅マンション(奥)を家宅捜索し、押収物運び出す捜査員
—28日午前6時14分、東京都中野区